



# 国府台女子学院 小学部だより

市川市菅野3-24-1

Te l 047-322-5644

f a x 047-322-5655

令和2年1月号

<https://www.konodai-gs.ac.jp/>

## 今年 の 目 標

一日々を大切に

干支が一回りして、今年はねずみ年ですが、子(ね)は本来「孳」という字で、「種子の中に新しい生命がきざし始める状態」を指すそうです。子供たち一人一人が、新しい目標を定めて、新たなエネルギーを生み出すためにも新年のスタートが肝心になってきます。

子供たちの目標を聞くと、目の前の学習面や運動面などの具体的な課題クリアの目標のこともあれば、遠い将来の夢の実現に向けての目標を話してくれることもあります。

どちらの目標もしっかりと胸に抱いて、日々を大切にすることで、充実した1年につながっていくものと思います。



## 1月の行事予定

7日 3学期始業式	16日 3年歴史博物館見学
8日 短縮日課 委員会 職員会議	20日 朝会
9日 書初め大会	21日クラブ、9時登校(中学部入試) 4年心のエネルギー講演
11日 報恩講	23日 音楽授業研究会
13日 成人の日	24日 仏教朝礼
14日 クラブ	27日 児童集会
15日 私立小学校造形展 (~24日)	28日 職員会議
書初め、年賀状、絵手紙展 (~2月1日)	29日 3年茶道教室 理科授業研究会
15日 放課後マラソン ~24日	30日 算数授業研究会
	31日 仏教朝礼 1年昔遊び体験



## スキー学校

5年生は、12月21日から24日まで、志賀高原焼額山スキー場でスキー学校を行いました。子供たちは、グループに分かれ、インストラクターの指導のもと、初めてという子供たちを含め、めきめきと実力を伸ばしていきました。

また、23日の夜には、恒例のクリスマス会が行われ、実行委員を中心に楽しいひとときを過ごしました。



スキーの技術向上はもとより、雪の重さを感じ、雪国で暮らす人々の苦労や工夫を肌で感じ取れたことも大きな収穫でした。

## 合唱フェスティバル

12月25日、合唱部は、市川市文化会館大ホールで開催された「市川市児童生徒合唱フェスティバル」に出演し、「シーラカンスをとりにいこう」と「パプリカ」の2曲を披露しました。笑顔いっぱい、オリジナルの振り付けもあり、大ホールを楽しい雰囲気してくれました。



2月には、南八幡デイサービスセンターでの「ふれあいコンサート」で、高齢のみなさんと懐かしい歌での交流が計画されています。

## 1月の生活目標

「寒さに負けずに、元気に遊びましょう」

## 「報恩講」

秋から冬にかけて、浄土真宗では、《報恩講》をおつとめする寺がたくさんあります。この「報恩講」は、私たちに大切なみ教えを伝えてくださった親鸞聖人のご命日にあたり、「ありがとうございます」とお礼の気持ちをあらわす仏教行事です。

合掌をして「いただきます」「ごちそうさまでした」という姿は「ありがとうございます」の感謝の意味があります。

たとえば、「いただきます」は食べ物はすべての生き物からできています。肉や魚、野菜もすべて生きていた命です。その大切な命をいただくという意味があるのです。食べ物という命は、私たちの命を支えてくれている大切な命なのです。

「ごちそうさまでした」という言葉は「走り回って集める」という意味があります。今、いただいた食べ物は、たくさんの人々の働きがあって、初めて目の前に並んでいるものです。

仏さまは「すべてのものに命があって、その命ははかなくとも、かけがいのない命です。大切にしよう。」と教えてくださっています。

## ちよつとうれしい話

~がんばっています 読書記録名人 ~



読書の記録名人が、次から次へと誕生しています。

過日の新聞に、紙ベースの読みものに親しんでいる子供の方が、電子媒体の文字にふれている子供より学力が高いという記事が出ていました。本を読むことが、学力以外に感性や、集中力などにもよい影響を与えるとのことですので、改めて読書の大切さを感じさせられます。

現代の子供たちは、いろいろな課題を抱えているという情報が流れています。読書に親しむことは、その課題解決の一端を担えるであろうことから、小学部のたくさんの子供たちが読書に親しみ、読書記録名人を目指していることを大変嬉しく思います。